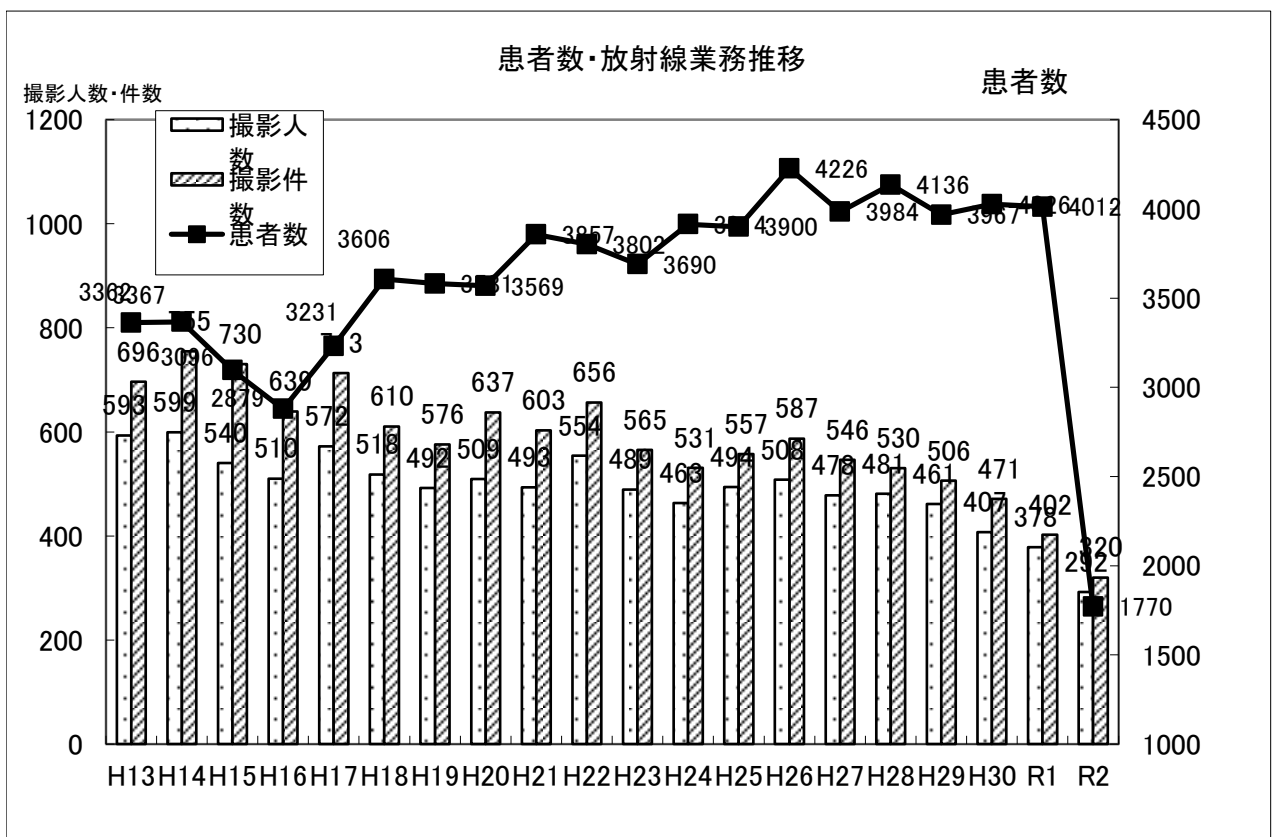


## 令和2年度 大野市休日急患診療所 放射線業務内訳

月	撮影人数計	内科	外科	小児科	検査件数計	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	肋骨	上肢	下肢	その他
4月	20	9	11	0	24	9	1	0	3	1	1	4	5	0
5月	30	5	24	1	34	8	2	0	1	4	3	7	9	0
6月	17	2	15	0	23	6	1	0	3	0	1	7	4	1
7月	24	4	20	0	27	2	2	0	2	5	1	8	7	0
8月	29	4	25	0	29	3	1	1	4	2	0	9	9	0
9月	29	5	23	1	30	4	2	1	2	3	0	10	8	0
10月	17	2	15	0	17	2	0	1	1	0	1	8	4	0
11月	30	0	30	0	32	2	0	0	2	1	4	9	13	1
12月	22	8	14	0	23	7	1	0	2	1	0	8	3	1
1月	32	6	26	0	36	4	2	0	6	2	2	7	13	0
2月	22	3	19	0	25	4	0	1	2	1	2	4	10	1
3月	20	4	14	2	20	4	2	1	2	1	1	6	3	0
計	292	52	236	4	320	55	14	5	30	21	16	87	88	4



# 大野市休日急患診療所 撮影画像評価

2020年度 大野市休日急患診療所における年間撮影内訳 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	撮影人数	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	四肢関節	その他	総件数
内科・小児科	56	55	14	5	30	21	175	20	320
外科	236								
合計	292								

評価フィルム内訳 38人(46件) 期間 2020年6月1日～2020年7月31日

	撮影人数	胸部	腹部	頭部	脊椎	骨盤	四肢関節	その他	総件数
内科・小児科	6	3	3	0	0	0	0	0	6
外科	32	2	0	0	2	2	30	4	40

表1 撮影フィルム評価分類(対象件数:46件 全99枚)

評価	A	B	C	D
読影	支障なし	ほぼ支障なし	支障あり	問題あり
診療	支障なし	支障なし	やや支障あり	支障あり
再撮	必要なし	必要なし	出来れば再撮	要再撮
該当件数	40	5	1	0

※複数評価あり

表2 評価BCDの内容

	機器	手技	条件	処理
コードNO.	NO. 100代	NO. 200代	NO. 300代	NO. 400代
該当件数	0	6	0	0

※ 機器:自現機以外の機器調整不備 手技:不適切な撮影手技 条件:不適切な撮影条件  
処理:階調の問題 取扱:不適切なフィルムの取り扱い

表3 内容詳細(重複あり)

101センターズレ				
102X線斜入				
103IP管理				
201ポジショニング不適				
202肺野欠け				
203肺尖欠け				
204横隔膜欠け				
205恥骨欠け				
210入射点不適				
221絞り不足				
230体動あり				
231呼吸ブレ				
242リス忘れ				
250着衣金具有		1		
252プロテクト位置不適				
253マーカ不適		1		
255マーカなし		4		
301S値不適				
402階調不良				
Bの内訳	0	5	0	0
Cの内訳	0	1	0	0
Dの内訳	0	0	0	0

図1 撮影フィルム評価分類

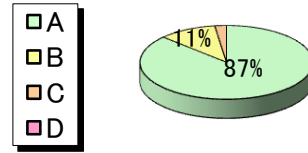


図2 BCDの内容・内訳

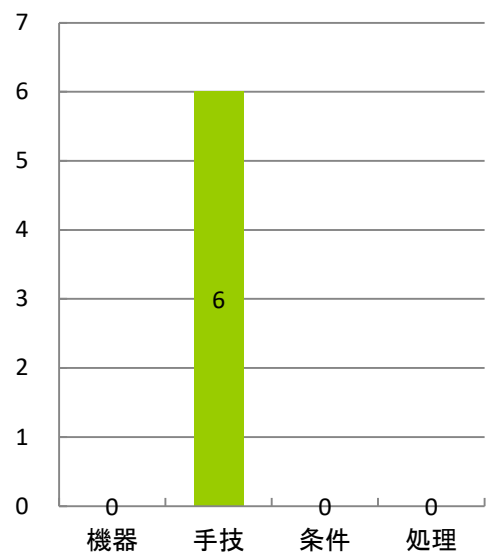
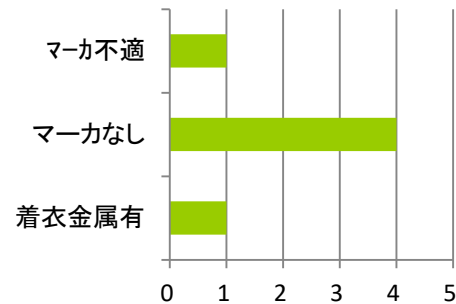


図3 内容詳細



## 結果

前年度に比べ、総撮影患者数は378名から292名に減少し、総撮影件数は402件から292件へと減少した。

表1より 評価A40件、評価B5件、評価C1件であった。診断に支障をきたすような画像は1件であった。

表2より 評価Bの内訳として、手技によるもの5件であった。評価Cは手技によるもの1件であった。

表3より マーカーなしの画像が一番多かった。

## 考察

前年度と比べると少し減少したが、今年度もマーカーなしの写真が目立った。

同一出務者によるものが多かったため、日常業務から心掛けるようにしていただきたい。